

2021「植村直己冒険賞」受賞者決定



しらせ
白瀬ルートによる南極
点単独徒歩到達に挑戦

あべまさたつ
阿部雅龍さん

授賞式・記念講演会

6月4日(土)

午後1時30分～3時30分

日高文化体育館

南極メスナールート・白瀬ルートの比較



4月22日、2021「植村直己冒険賞」受賞者の発表会見を東京会場（アルカディア市ヶ谷）と豊岡会場（府中小学校）で行いました。

今回は、21年に日本人が挑んだ109件の冒険行の中から「白瀬ルート」による南極点単独徒歩到達に挑んだ阿部雅龍さんが受賞されました。

「白瀬ルート」とは、明治時代に南極大陸を探検した白瀬 矗陸軍中尉が挑戦した、未完の難関ルート。阿部

さんは、1982年秋田県生まれ。同じく秋田県出身の白瀬さんに憧れていた阿部さんは、極地冒険家 大場満郎さん（第4回植村直己冒険賞受賞者）との偶然の出会いで冒険の世界へ。それ以降、南米大陸単独自転車縦断（290日、1万924kmを皮切りに、世界中で冒険を行い、2019年1月には、日本人初踏破となるメスナールートでの南極点単独徒歩到達を達成。21年11月からは「白

瀬ルート」による南極点単独徒歩到達に挑戦しています。22年1月現在、大和雪原から約780km、高度1027m、南緯85度26分、西経165度50分まで到達。22年11月再開予定です。

なお、本賞の授賞式は、6月4日に日高文化体育館で行います。冒険賞の授与のほか、阿部さんの講演も行いますので、皆さん、お楽しみに。

《問合せ》生涯学習課 ☎23-0341

喜びの声

名誉ある賞をいただき身に余る思い

植村直己冒険賞という日本人冒険家にとって最高名誉と言える賞を受賞させていただき、身に余る思いです。今回の受賞は今後の期待を込めて感じています。まだ、僕にとって不釣り合いの賞。だから賞に見合う男になるためにまた年末南極に挑戦します。今回、白瀬ルートを一時撤退しましたが、失敗することは人生にあってよいと思っています。そこから立ち上がって動くことが大事です。失敗から立ち直ってそこから夢をかなえる方がいい。立ち直って再度夢に挑戦し、それをかなえていきたい。大変な冒険ですが、楽しくワクワクした気持ちで、南極の景色をまた皆さんにお見せしたいです。

探検家・白瀬 凜に憧れて

地球の最南端に位置する氷の大地、南極大陸。日本の南極探検の歴史は約100年前にさかのぼります。1912年、世界の国々の極地冒険家（北極や南極を冒険する人）と競いながら人類初の南極点を目指した白瀬 轟（陸軍中尉、1861〜1946）率いる日本隊は、全力を尽くしましたが、南極点の手前地点（現在では大和雪原と呼ばれる）で探検を断念しなくてはなりませんでした。少年時代の阿部さんは、そんな白瀬さんに強く憧れ、冒険の世界への興味を深めていきました。

大場満郎さんとの出会い

阿部さんが冒険を自分自身で始めるきっかけは極地冒険家の大場満郎さんとの出会いだったそうです。学生時代のある日、ネット記事で大場さんを知ったそうです。大場さんへの憧れは、幼少期に本で読んで偉人への憧れそのもの。通っていた大学を休学し、大場さんが主宰する「アース

カデミー大場満郎冒険学校」のスタッフとなりました。



▲大和雪原をスタート
(21年11月18日)

世界へ踏み出す

大場さんとの出会いから、冒険に向けての心構えや人とのつながりなど、多くのことを学びながら、行動へ移していきます。2006年、赤道直下エクアドルからアルゼンチンのラパタアイ湾まで290日、1万924km単独自転車縦走を皮切りに、10年にはアメリカ単独踏破4200km、11年カナダ単独踏破1200km、更には極地へ舞台を移し、14、15年には続けてカナダ北極圏単独徒歩を行うなど、自分自身の冒険を続けてきました。



▲100kgの装備を引いてひたすら歩く

単独徒歩での

南極大陸挑戦に備えて

単独徒歩到達は①一人で（単独）②歩いて（徒歩）③目的地に到着（到達）する—という意味です。南極での気温はマイナス30度、常に吹きつけるカタバ風により行く手をさえぎられ、体力の消耗も大きいため、日々のトレーニングを休まずに続けることが重要。阿部さんは、資金稼ぎを兼ねて、東京浅草で人力車阿部屋を営み、人力車を引くことで地道なトレーニングを続けて

きました。

なによりもまずは、
夢を持つこと

「夢を持つこと。かなうかどうかは分からないけれど、その方がずっと楽しい。その夢に向かってどうアクションを起こすか、ルートは一つではないはず。自分ができる最善の道を選ぶことで、目的は達成できると気付いた」と話す阿部さん。

「白瀬ルート」での南極点単独徒歩到達はまだ道半ば。あきらめず自分の夢に対して真つすぐ進む阿部さんのこれまでの挑戦をたたえ、これから挑戦にエールを贈ります。



▲撤退地点で白瀬隊の探検旗を掲げる
(22年1月11日)

阿部雅龍さんプロフィール



1982年12月生まれ。秋田県出身。秋田大学在学中の21歳から冒険活動を開始。単独・人力をテーマに世界を冒険する。人力での冒険距離は20,000km以上。南米自転車縦断(11,000km)、北米大陸ロッキー山脈縦貫トレイル踏破(5,400km)、乾季アマゾン川いかだ下り(2,000km)、カナダ北極圏徒歩(500km)、カナダ北極圏徒歩(750km)、グリーンランド北極圏歩行(750km)など。全て人力単独行。2019年日本初メスナールートによる南極点単独徒歩到達(918km)を達成。同年3月板橋区文化特別栄誉賞受賞。小学生たちと夏休みの三陸海岸冒険ウォーク100km主催。著書に学校推薦図書『次の夢への一歩』(角川書店)。写真提供：阿部雅龍